

組合創立60周年を迎えて

愛知文紙事務器卸協同組合

平成24年5月16日に愛知文紙事務器卸協同組合は、組合創立60周年を迎えることができ名古屋観光ホテルにて記念式典と組合功労者及び永年勤続優秀社員の表彰を関係官庁の御臨席を賜り開催致しました。

創立60周年と申しますものの、組合活動の歴史は古く今から120年程前、明治26年に名古屋文具商組合が発足しております。

昭和4年には、名古屋文房具商工同業組合が、昭和15年には、統制物資の配給業務を目的とした名古屋文具卸施設組合が結成されております。

これを母体に戦後昭和22年には、愛知文具卸商業協同組合が、更に昭和27年に新しく制定されました中小企業等協同組合法にもとづき、名古屋文具紙製品卸商業協同組合が設立されることとなり、ここに当組合の正式な発足をみることになりました。

なお、今日の名称、愛知文紙事務器卸協同組合は、平成2年に地域の拡大と、より充実した活動強化を目指して名称を変更いたしました。

同時に呼称のイニシャルである「ABJ」を配して、新しい組合のシンボルを制定し今日に至っています。

日本経済の環境は大変厳しい状況にあることはご存じと思います。

文具事務用品、事務機器の業界においても全国的に卸連登録構成員数の減少が目立ち、現在は29団体307社とピーク時の凡そ26%という状況になってしまいました。

このような厳しい環の中、最近では、地方都市を中心に新たなコンセプトによる新店や、大型小売専門店が出店され、文具関連メーカー様の新製品開発から斬新なデザインや高機能で使いやすい商品が数多く発表され、頻繁にマスコミにとりあげられていることは文具関連商品が世間から関心をもたれている証しとして業界にとって喜ばしいことと思っております。



【永年勤続優良従業員の謝辞】



【加賀理事長の挨拶】

当組合は60年間に築きあげられました組合員相互の強固な連帯感、各組合員の堅実な経営基盤、さらに大勢の優秀な社員に恵まれており、お互いに力を合わせ将来に向かい、英知を結集し、研鑽、努力いたす決意でございます。

今後とも引き続き、関係各位の皆様方のご支援とご指導を賜りますことをお願い申し上げます。